

資料 2-1

平成 13 年度 国立病院特別会計予算の概要

○ 国立病院特別会計の収支状況

(単位: 億円、%)

歳 入			歳 出		
事 項	13年度	構成比	事 項	13年度	構成比
診 療 収 入	7,939	75.4	経 営 費	8,538	81.1
借 入 金	882	8.4	看 護 婦 等 養 成 費	85	0.8
積 立 金 より 受 入	179	1.7	施 設 整 備 費	967	9.2
雑 収 入	221	2.1	特 別 整 備 費	901	8.6
一 般 会 計 より 受 入	1,310	12.4	一 般 整 備 費 等	66	0.6
			国 債 整 理 基 金 特 別 会 計 へ 繰 入	939	8.9
			予 備 費	2	0.0
合 計	10,531	100.0	合 計	10,531	100.0

(参考) 一般会計より受入の推移

(単位: 億円、%)

年度	当初予算額 (A)	一般会計受入額 (B)	対前年度 増△減額	受入率 (B)/(A)
4	9,418	2,406	218	25.5
5	9,947	2,482	76	24.9
6	10,373	2,588	106	24.9
7	10,502	2,486	△ 102	23.7
8	10,651	2,196	△ 290	20.6
9	10,871	1,802	△ 394	16.6
10	10,980	1,468	△ 334	13.4
11	10,720	1,418	△ 50	13.2
12	10,632	1,404	△ 14	13.2
13	10,531	1,310	△ 94	12.4

国立病院の予算の仕組み（構成）について

国立病院・療養所の運営に関して、経営の効率化や健全性の確保を明確にするため、一般会計と区分して国立病院特別会計を設置している。

一般会計と区分して経理することにより、

ア 財投制度による長期資金の借入や自己財産の処分により、必要な施設・設備整備等を計画的に行うことができること、

イ 収入が予算額を超えて増額する場合、その増加額と関連のある支出の増加や剰余金の積み立てにより、経営の円滑化を図ることができること、

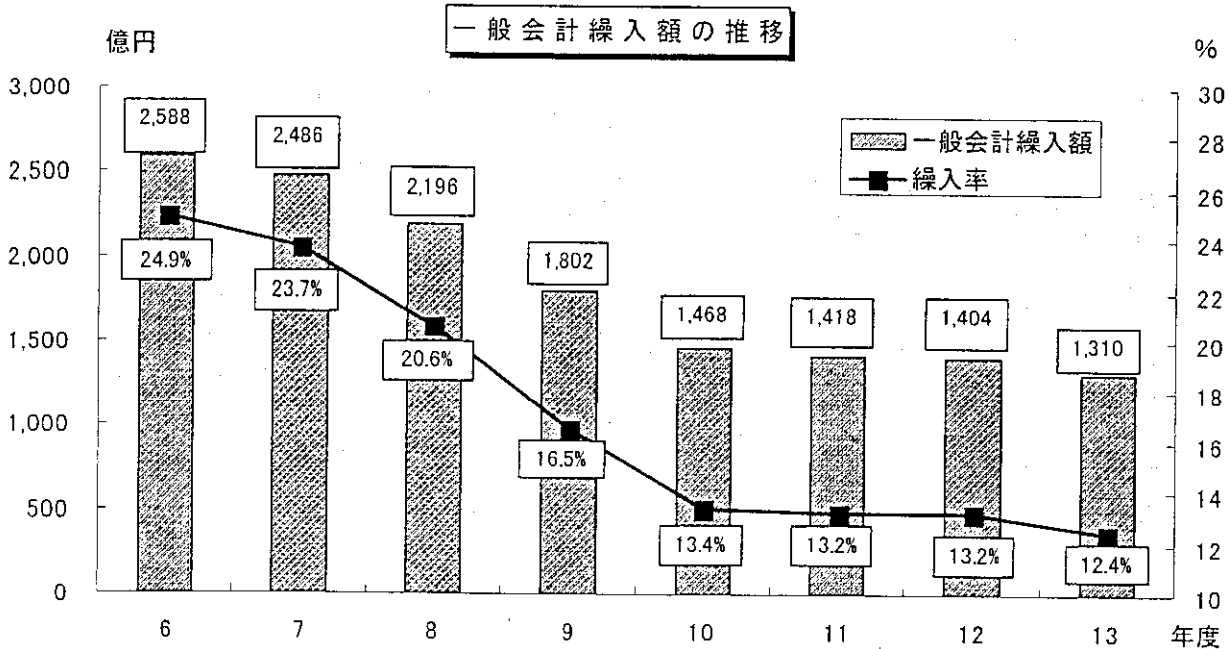
など、国立病院・療養所の効率的な運営を図っている。

〈 歳入予算と歳出予算のバランス〉 (歳 出) (歳 入)

<p>病 院 ・ 療 養 所 経 営 費</p> <p>国債整理基金特別会計繰入(元金)</p> <hr/> <p>政策医療(割高分)、研究・研修経費、 国債整理基金特会繰入(利息分)等</p>	<p>診 療 収 入</p> <p>積 立 金 よ り 受 入</p> <hr/> <p>雑 収 入 (受託調査試験等収入等)</p>
	<p>一 般 会 計 受 入</p>
<p>看 護 婦 等 養 成 費 (看護婦、助産婦、視能訓練士、理学療法士、作業療法士)</p>	<p>雑 収 入 (授 業 料 等)</p>
	<p>一 般 会 計 受 入</p>
<p>施 設 整 備 費 (一 般 整 備) (研 究 所 建 物 整 備 、 土 地 購 入 等)</p> <hr/> <p>施 設 整 備 費 (特 別 整 備) (病 院 建 物 整 備 、 大 型 医 療 機 器 購 入 費 等)</p>	<p>一 般 会 計 受 入</p>
	<p>借 入 金</p> <hr/> <p>雑 収 入 (土 地 処 分 収 入)</p>

国立病院特別会計の現状について

1. 国立病院特別会計は平成5年度から経営改善に着手し、診療収入の増収努力、病院運営の効率化、経費の節減等を強力に進めてきたところである。その結果、一般会計繰入額は、平成6年度には2,588億円であったが、平成13年度にはほぼ半額の1,310億円となっている。



2. 診療収入

(1) 平成5年度以降の再編成計画の着実な推進によりベッド数が大幅に減少してきている中で、診療収入については増額が図られている。

- ・ 5年度病床数 : 78,780床 ⇒ 12年度病床数 : 71,542床 (▲7,238床)
- ・ 5年度入院収入 : 5,068億円 ⇒ 12年度入院収入 : 6,430億円 (+1,362億円)

(2) 患者100人当たりの職員数(看護婦数)については自治体(都道府県)、公的病院(日赤)と比較して少ないにも拘わらず、患者1人1日当たり診療収入は自治体病院を上回っており、公的病院とも同水準。

【開設者別看護婦数(患者100人当たり)、入院患者1人1日当たり診療収入】(単位:人、円)

区分		7年度	8年度	9年度	10年度	11年度
看護婦数	都道府県	77.9	78.1	79.7	80.5	82.1
	日赤	71.0	72.9	74.5	76.2	78.5
	国立病院	53.7	54.3	55.3	56.6	58.7
	国立療養所	48.3	48.4	49.0	50.7	51.4
診療収入	自治体病院	28,353	29,037	30,369	31,917	32,862
	公的病院	30,038	30,827	32,156	33,096	34,089
	国立病院	27,640	29,602	30,783	32,033	33,467
	国立療養所	19,525	20,914	21,451	22,230	22,562

(注) 1. 自治体病院、公的病院のデータは「医療施設調査・病院報告」(厚生労働省大臣官房統計情報部)、「病院経営分析調査報告」(全国公私病院連盟)による。

2. 自治体病院、公的病院のデータは、一般病院のものである。

【国民医療費に対する国立病院・療養所診療収入の割合】

(単位：億円)

区 分	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度
国民医療費	243,631	257,908	269,577	285,210	290,651	298,251	309,337
診療収入実績	6,688	6,855	7,273	7,698	7,781	7,704	7,714
割 合 (%)	2.7%	2.7%	2.7%	2.7%	2.7%	2.6%	2.5%

※ 「国民医療費」は、厚生労働省統計情報部「国民医療費」による。

3. 歳出経費

(1) 経営費の77.9%が人件費と医薬品等購入費で占められている。また、診療部門の運営等に係る施設管理経費、患者関係経費、医療機器関係経費を含めると95.8%に達する。

【経営費の構成 (平成13年度予算：8,538億円)】

人 件 費	医薬品等購入費	施設管理経費	患者関係費	医療機器経費	研究費等
4,520億円	2,134億円	1,152億円	283億円	89億円	360億円
52.9%	25.0%	13.5%	3.3%	1.1%	4.2%

(注) 1. 施設管理経費：燃料・光熱水料、賃金職員経費、各種情報システム運営経費等

2. 患者経費：患者食糧費、患者用品費、寝具借料等

3. 研究費等：ナショナルセンター研究所経費、大型研究費、治療研究費等

(2) 再編成計画については、平成13年度までに統合による減が25カ所、移譲・廃止による減が26カ所となっており、統合新病院に係る施設整備費、初度設備費、移転経費等の「再編成のコスト」が年々増加傾向である。

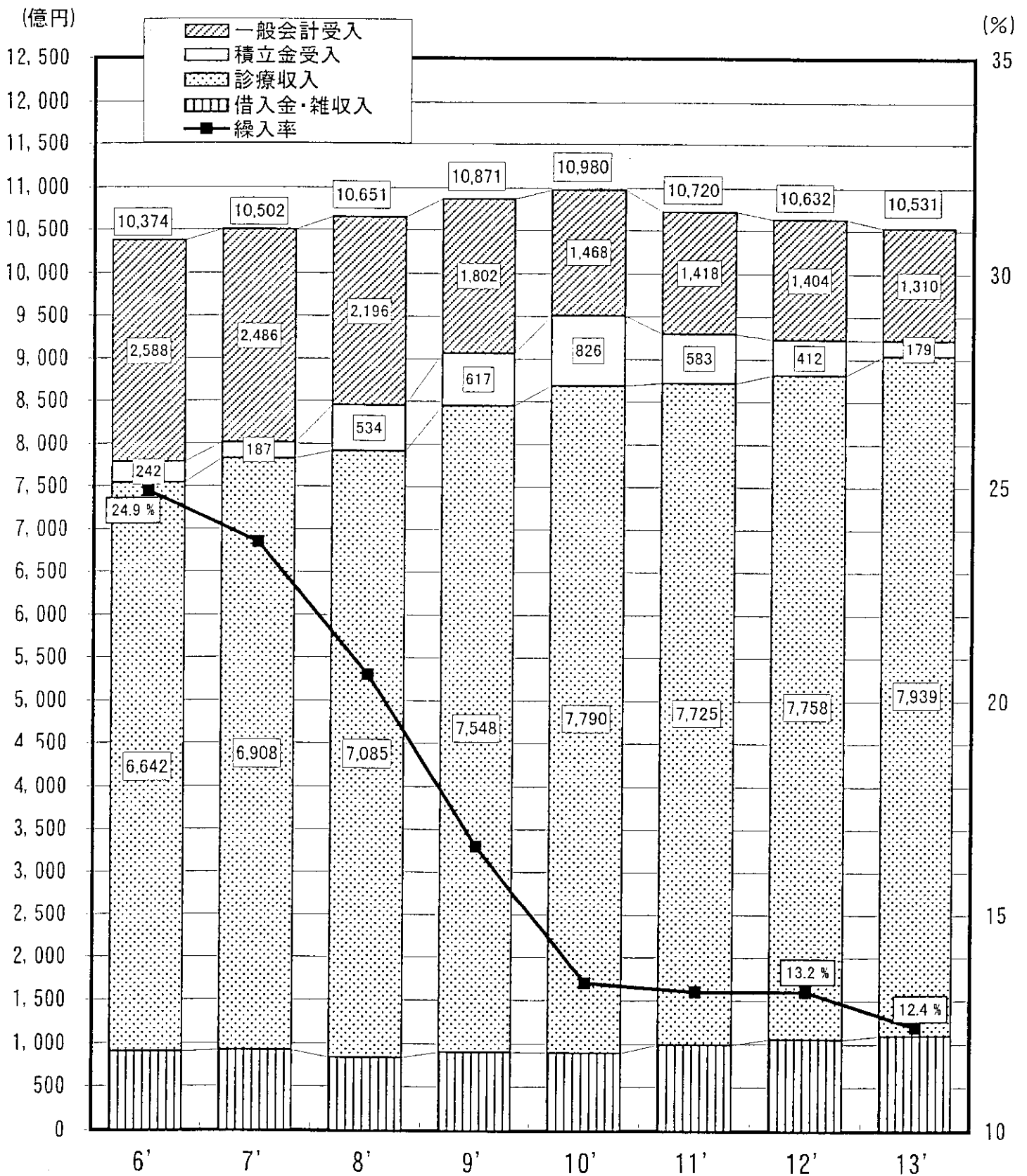
【再編成の実施状況と今後の見通し】

(単位：施設)

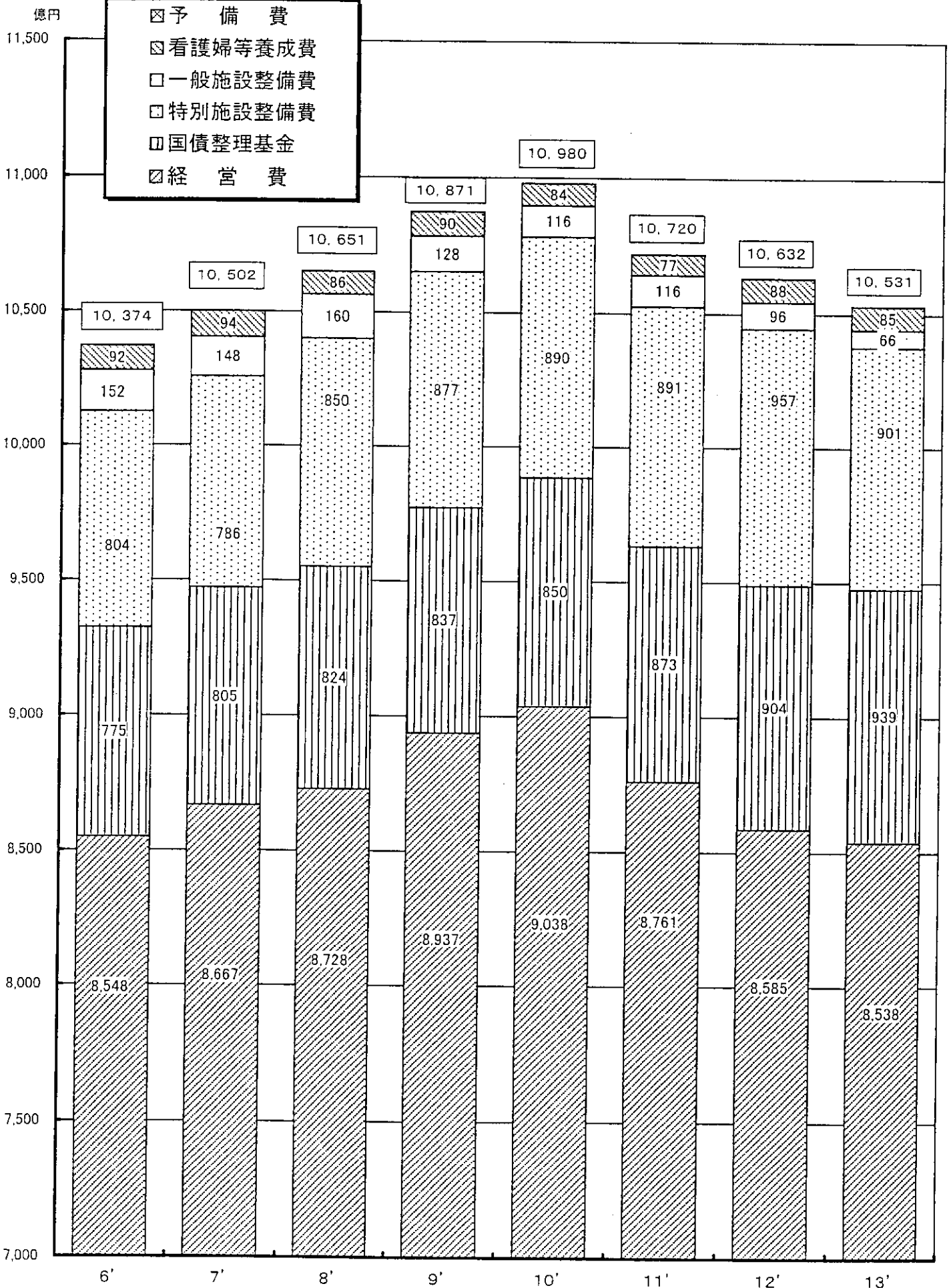
年 度	～6	7	8	9	10	11	12	13	14
統合減	▲6	▲3	▲1	▲2	▲1	▲2	▲6	▲4	▲7
移譲・廃止	▲2		▲1	▲4	▲4	▲6	▲4	▲5	▲7
計	▲8	▲3	▲2	▲6	▲5	▲8	▲10	▲9	▲14

再編成で生じる定員等の余裕は、医療スタッフを中心に再配置を行い、国立病院・療養所の機能強化のために活用。このため、再編成による歳出削減効果は物件費等の限られた部分のみである。

国立病院特別会計歳入(内訳)の推移(予算額)



国立病院特別会計における歳出経費の推移(予算額)



国立病院特別会計 財投借入金等の推移

(単位：億円)

年度	特別整備費	借入金	元 金	利 息	元利合計	借入金残高
元	421	414	262	387	649	5,918
2	423	401	280	390	670	6,039
3	501	470	297	399	696	6,211
4	642	600	317	406	723	6,494
5	916	786	336	407	743	6,944
6	804	780	354	409	763	7,370
7	786	697	371	418	789	7,697
8	850	577	389	420	809	7,885
9	877	775	404	418	822	8,256
10	890	765	429	407	836	8,591
11	891	886	470	395	865	9,007
12	957	942	513	382	895	9,436
13	901	882	548	375	923	9,770

(注) 1. 元金償還の財源は診療収入。利息支払の財源は一般会計からの受入。

2. 平成12年度までは実績。平成13年度は予算額。

国立病院特別会計

損益計算書

平成11年 4月 1日から

平成12年 3月31日まで

損 失		利 益	
科 目	金 額 (億円)	科 目	金 額 (億円)
経 営 費	8,296	診 療 収 入	7,722
看 護 婦 等 養 成 費	67	一 般 会 計 よ り 受 入	1,729
施 設 整 備 経 費	352	利 子 収 入	2
支 払 利 子	395	雑 収 入	97
未 収 金 償 却 引 当 金 繰 入	2	雑 益	26
雑 損	422		
本 年 度 利 益	42		
合 計	9,576	合 計	9,576

国立病院特別会計

貸借対照表

(平成12年 3月31日現在)

借 方		貸 方	
科 目	金 額 (億円)	科 目	金 額 (億円)
流 動 資 産	1,276	未 払 消 費 税	3
現 金 預 金	1,184	借 入 金	9,007
未 収 金	51	未 収 金 償 却 引 当 金	14
貯 蔵 品	41	基 金	13,628
固 定 資 産	21,418	本 年 度 利 益	42
土 地	6,379		
立 木 竹	5		
建 物	5,490		
工 作 物	3,923		
医 療 用 機 械 器 具	3,562		
備 品	1,425		
未 完 成 施 設	634		
合 計	22,694	合 計	22,694